

学習内容・活動	時間 (分)	Team Teaching (教師の働きかけ)		生徒の活動
		T ₁	T ₂	
3. 課題作りから発表までの活動に対する教師のコメントを聞く。 (1)グループ内の相互評価	8	<ul style="list-style-type: none"> 課題作りから発表までの活動を通してコメントを与える。 グループ学習を通しての友達の「よさ」を見つける。カードで書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題作りから発表までの活動を通してコメントを与える。 T₁の指示どおりにカードを書いているかどうか机間巡回しながら確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師のコメントを聞く。 グループ内での友達の「よさ」を見つける。 <p>【相互評価】 評価の観点 ○グループ内の活動について ・課題への取り組み ・発表の様子</p>
(2)自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 自分の「よさ」についてカードで書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> T₁の指示どおりにカードを書いているかどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の「よさ」について見つける。 <p>【自己評価】 評価の観点 ○グループ内の活動について ・課題への取り組み ・発表について</p>
4. 本時の学習のまとめをする。	2	<ul style="list-style-type: none"> 相互評価カードをお互いに交換しているかどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価カードをお互いに交換しているかどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達どうしお互いの「よさ」を書いたカードを交換し合う。

② 「よさ」を意識化させるために

まとめの言語活動への取り組みに対して、「課題への取り組みを通してよかったところ」、「発表を通してよかったところ」の2つの観点から、自分、友達、教師の三者による「よさ」の認め合いを行う活動を行った。

具体的には、グループ学習の活動を通してとられた班員の「よさ」を「『よさ』発見カード」に記入させ、相互に交換し合い、教師からのカード更には自分の「よさ」について書いたカードとともに生徒一人一人が自分の「よさ」を見つめる活動である。

